

## FIC 夏の猪苗代ツアー



7月20日(水)、夏の猪苗代ツアーが開催されました。

福島、郡山、いわきからそれぞれ現地集合

1部 天鏡閣、迎賓館見学～昼食役員会

2部 Roots猪苗代見学～解散となりました。

歴史ある貴重な建築の見学を通して、福島再発見。1つ1つの意匠について詳しい説明をしていただき、学びを深めることができました。

1部 14名参加

2部 16名参加

### 1部 天鏡閣(国指定重要文化財)見学

7月20日FIC猪苗代ツアーに会員、賛助会員約多数参加いただきました。ありがとうございます。10時集合で天鏡閣から迎賓館、昼食役員会、Rootsと見学打ち合わせしました。

天鏡閣について

明治40年8月有栖川宮威仁親王殿下が猪苗代湖畔を巡遊され別邸を建設する事を決定されました。それが明治の香りを今に伝える天鏡閣となりました。

気品あるルネッサンス風洋風建築で意匠をこらした優雅なたたずまいは大変見学がいがある外観、インテリアです。ぜひ、予約して見学をおすすめします。今回案内頂いた方は長沼さんです。(車田)



1 マントルピースにはチューリップをモチーフにしたイギリス製のマジオルカタイルが使われている。

2 2階の付属室には優雅なロココ調の家具  
3 撞球室は接客の場

4 客間の天使がついている豪華なシャンデリア。天井に施された飾り絵も美しい。  
5 客間の椅子は鹿鳴館で使われていたものと同じ形で復元されたもの。

6 客室と並び重要な食堂。ジャコビアンスタイルのハイバックチェアとカーテン。カーテンの吊り器具は当初からあったもの。



## 第2部 旧高松宮翁島別邸（福島県迎賓館）国指定重要文化財

大正天皇第三王子、高松宮宣人親王殿下が有栖川宮威仁親王妃慰子殿下の御保養のために大正11年に建てられた。貴重な銘木を使い、洗練された意匠で妃殿下の御安息所にふさわしい格調高いものになっている。

天鏡閣見学後、迎賓館に向かいました。荘厳な茅葺き屋根の長屋門をくぐり正面に一見こじんまりとした平家建ての建物が現れました。中に入ってから、驚きの連続でした。選び抜かれた銘木を採用した宮大工の丁寧な仕事が随所に見られる建物です。（志賀）



菊池さんから意匠について詳しい説明をきく。



秋田杉の棧唐戸

- 1 ガラス窓の向こうに猪苗代湖
- 2 釘隠し
- 3 白九条紋の畳べりで格式の高い文様
- 4 濱田庄司に依頼して移築した門
- 5 螺鈿の火鉢
- 6 屋久杉の欄間は源氏香の香図

## 第2部「Roots 猪苗代」見学

夏の猪苗代ツアー第2部の見学は猪苗代湖の程近く、旧山潟小学校が「家」と「暮らし」を提案する「Roots 猪苗代」中に入ると黒板や大きな柱時計があり、学び舎であった面影を残しつつ素敵にリノベーションされていました。

1階にはカフェやアウトドアショップ Roots、2階には Roots 工務店、そして Lifestyle Shop には無垢の木を使ったテーブルや椅子、手織りの絨毯、そしてリネンのカーテン、木製のキッチン用品など、どれも愛着を持って長く使いたいと思うものばかりでした。

飛松灯器の照明器具の展示会中で、白い磁器の美しい灯りにも魅了されました。

Roots は家族のために自宅をログハウスで建てたところから始まったとのこと。本物に囲まれて、「健康な家、本物と育てる暮らし」という Roots の基本理念を感じることができました。（齋藤）

マネージャーの奥田さんに丁寧に説明いただきました。



1 薪ストーブ

2 飛松灯器の陶磁器照明

3 看板

4 1Fのcafe entotsunoki

5 2階 Roots Lifestyle shop

6 無垢のテーブル、手織り絨毯の展示

7 小学校当時の柱時計

8 旧山潟小学校の校歌